

ドローンを使用した 橋梁点検技術の実演講習会

点検支援技術「BR010028」 FLIGHTS CONTROL

●実演会の趣旨

笹子トンネルの崩落事故をきっかけに、2014年から開始された橋梁およびトンネルの5年ごとの近接目視による定期点検は、2019年に定期点検要領の改定が行われ、ドローンを始めとした新技術が橋梁やトンネルの点検に積極的に活用されるようになりました。

今年度は定期点検も3巡目に入り、新技術の活用で点検効率を上げることが、より一層、期待されますが、現時点でドローン橋梁点検は、普及に至っておりません。

今回は、**2023年度の国交省の点検業務で最も実績があるドローン**（点検支援技術「BR010028」）を用いて、実際の橋梁を対象に、**デモフライトから解析まで一連の流れを実演**いたします。

また、デモフライト前に「ドローンによる橋梁点検の現状と課題」をテーマに座学講習を行い、その上で、本技術のポイントとなる、**費用対効果を発揮しやすい橋梁選定、「近接目視と同等」の精度を担保するための精度管理、パイロットの技量によらない自動飛行**等についてもお話いたします。

日 時：令和6年6月11日（火）第1部：9:00～12:00 / 第2部：13:00～16:00

会 場：座学：(株)コンクリートサポートセンター 2階（福岡市早良区次郎丸） デモフライト：田村大橋

会 費：無料 ※事前お申込制

対 象：国交省・地方自治体の維持管理担当者様/建設コンサルタント企業様/点検会社様

お申込みはWEBフォームより

<https://airtable.com/appNcDr5DZlnzjulq/pagTJI29sQtLlIF7q/form>

※上記URL または 右のQRコードよりお申込みフォームにお入りください

FLIGHTS



時間割

9:00～10:00 座学講習

テーマ：ドローンを利用した橋梁点検の活用の手引き

- Ｌ 現状 要領、性能カタログの関係
- Ｌ 現状 性能カタログ掲載技術
- Ｌ 課題 新技術の選択基準、方法
- Ｌ ドローン点検の流れ
- Ｌ 技術的な背景
 - Ｌ 画像取得 画素分解能、被写界深度
 - Ｌ ドローンの性能 距離一定、正対
 - Ｌ 画像取得飛行 自動飛行、自動画像取得
 - Ｌ 精度管理作業
 - Ｌ 内業作業 画像合成、損傷検出、損傷図作成
- Ｌ 技術紹介 まとめ（長所短所、工期、費用）など



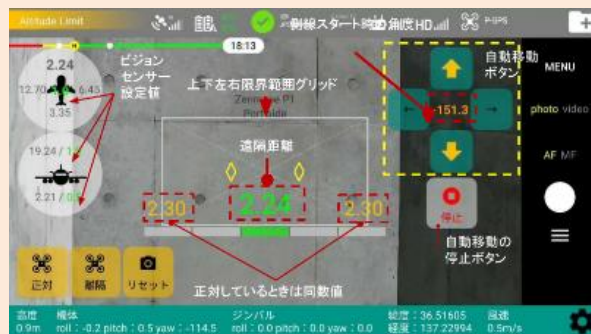
大日本ダイヤコンサルタント株式会社
中部支社技術部技師長
兼 株式会社FLIGHTS 技術顧問
堀田 毅

10:00～10:15 移動

10:15～10:45 デモフライト～成果品作成の実演

下記の流れで実演いたします

- 飛行撮影（自動）
- ▼
- 精度管理（アプリ）
- ▼
- 画像処理（Metashape）
- ▼
- AI検出照査
- ▼
- 成果品作成



「FLIGHTS CONTROL」飛行画面イメージ

10:45～11:00 ユーザーの声 (株)コンクリートサポートセンターより

従来点検手法での課題、FLIGHTS CONTROLの魅力についてお話いたします。

11:00～12:00 質疑応答、個別相談

会場詳細

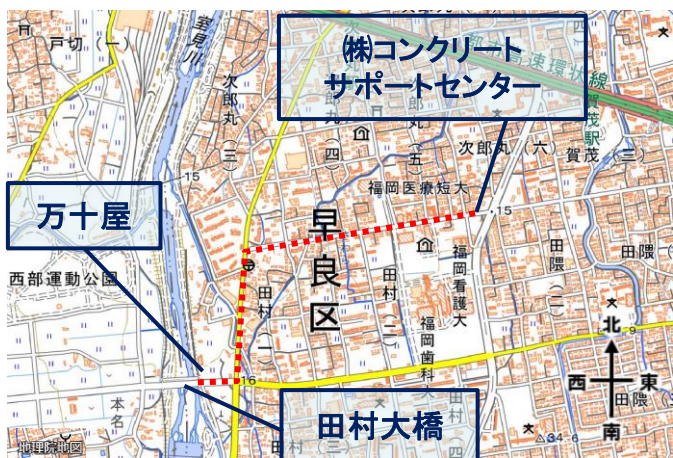
座学：(株)コンクリートサポートセンター 2階
福岡県福岡市早良区次郎丸6丁目13番24号

CSC
Map



デモフライト：田村大橋 (福岡県福岡市西区田914-1付近)
駐車場：万十屋 (福岡県福岡市早良区田村1-12-10)

万十屋
Map



※駐車場について：座学会場(株)コンクリートサポートセンターに駐車場がございます。
またデモフライト会場付近の飲食店『万十屋』の駐車場をお借りしています。

※お申込み等に関するお問合せは、下記までお願いいたします。

株式会社FLIGHTS 点検事業部 担当：横川 03-5860-1023